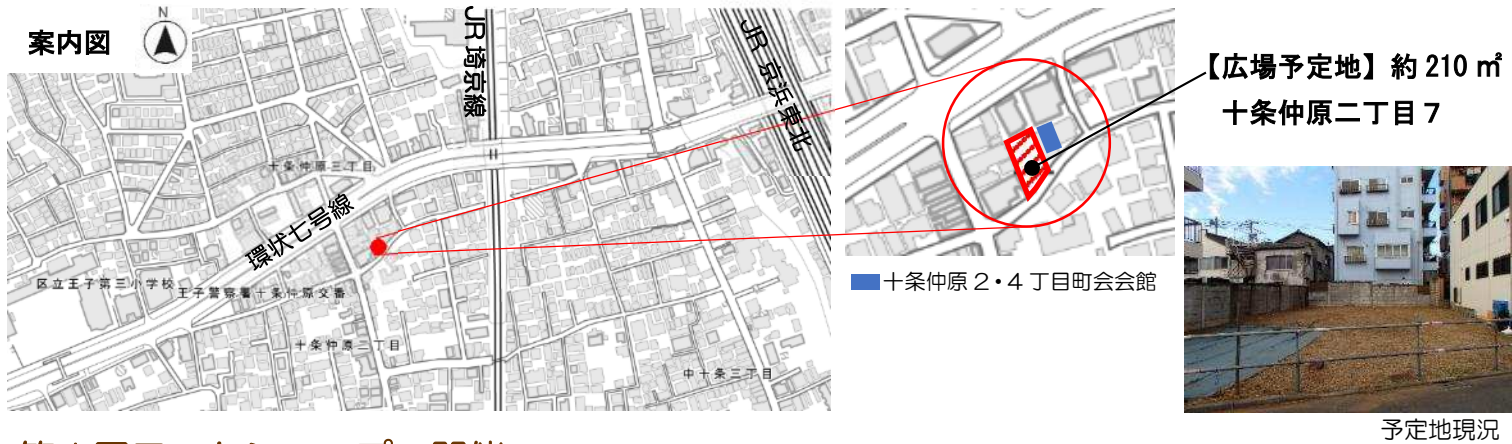


北区では、密集住宅市街地の防災性向上のために、十条仲原2・4丁目町会会館の隣地に「(仮称)十条仲原二丁目防災広場」(十条仲原二丁目7)の整備工事を予定しています。

この広場の整備内容を検討するワークショップ(全2回)を開催しています。



■第1回ワークショップの開催

令和7年11月29日(土)十条仲原2・4丁目町会会館にて第1回ワークショップを開催しました。当日は7名の方にご参加いただき「防災公園のアイデアを出し合おう!」をテーマに、グループごとに広場の利用や、整備のアイデアについて意見交換を行いました。

ワークショップの流れ



① 計画地の概要、整備スケジュールについて確認しました。



② グループに分かれて、防災広場に関する様々な意見を出し合いました。



③ グループで出されたアイデアをまとめ、発表を行いました。

【第2回ワークショップについて】

- ◆開催日時：令和8年2月7日(土)
- ◆時間：13時30分～(1時間程度を予定)
- ◆会場：十条仲原2・4丁目町会会館(十条仲原2-7-1)
- ◆テーマ：防災公園の整備プランを出し合おう!
- ◆参加方法：申し込みは不要です。直接、会場へお越しください。

【問い合わせ先】北区 防災まちづくり担当部 防災まちづくり担当課 担当：末岡、草間
電話番号：03-3908-9162 FAX：03-3908-2244

■意見交換の結果

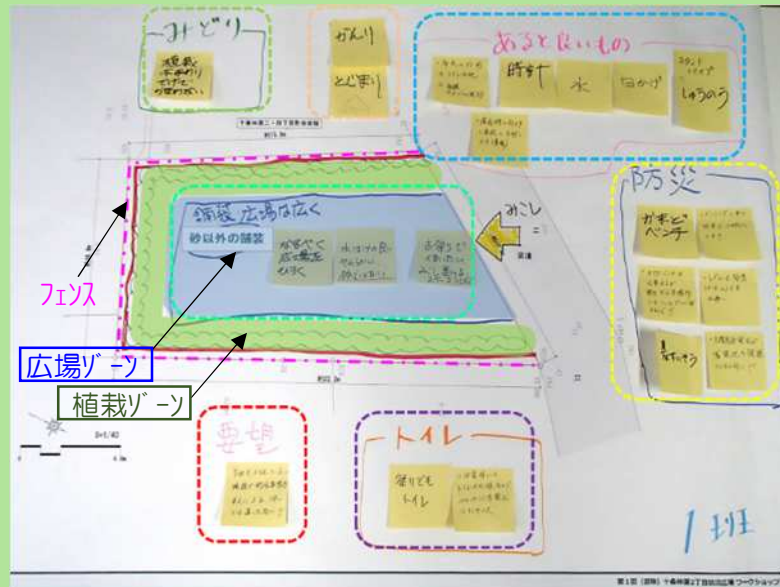
アイデアを出し合いながら、広場のゾーニング※案をまとめました。

※ゾーニングとは敷地を機能や用途に応じて区分して、それぞれの位置関係を検討して配置する設計の手法です

1班

＜ゾーニング案＞

- 外周沿いは植栽ゾーンとし、敷地境界からの離隔を確保する。
- 中央部に広場ゾーンを大きく確保する。

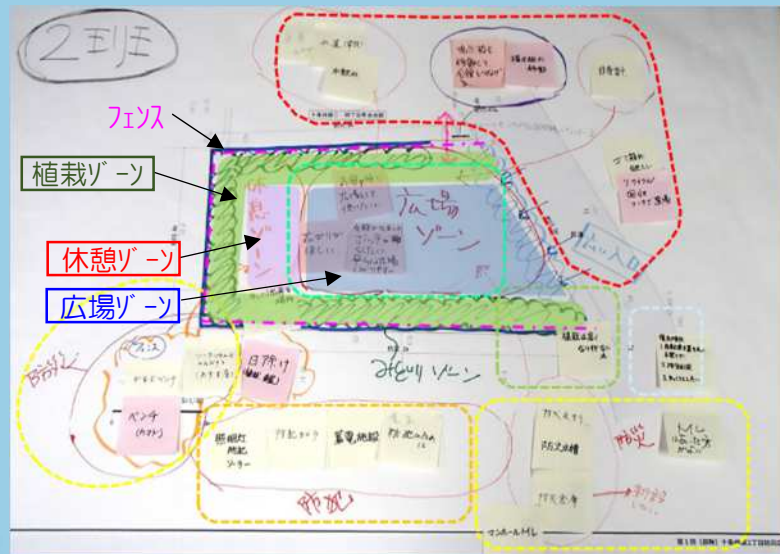


みどり	・植栽は外周だけ
防災	・かまどベンチ
	・町会事務所にはコンロ、ボンベ等を考慮して、かまどベンチは検討する
	・防火水槽
	・防災トイレ(マンホール式)
広場	・ソーラー灯(災害時の携帯充電用バッテリー内蔵)
	・お祭りの時に広場として使いたい
	・神輿を置くスペースとして利用
	・道路側の入口は広くする
管理	・砂以外で水はけの良いやわらかい舗装
	・広場はなるべく広くする
その他施設	・夜間は閉鎖した方がよい
	・夜間は閉鎖しなくてもよい
	・トイレ(祭りの時に使いたい)
	・雨水を溜めて利用する(植木の水やりやトイレ用)
	・雨除けになる屋根または夏場の日除け施設
	・時計
要望	・水飲みや手洗い
	・スタンドパイプ(初期消火器具)収納
	・当広場は隣りが町会事務所なので上五、仲一とは違った内容にして欲しい

2班

＜ゾーニング案＞

- 外周沿いは植栽ゾーンとし、敷地境界からの離隔を確保する。
- 中央部に広場ゾーンと休憩ゾーンを確保する。



みどり	・植栽は高くなりすぎない樹種
防災	・かまどベンチ
	・防火水槽
	・防災トイレ(マンホール式)
	・日除け(植栽、四阿)
広場	・ソーラーパネルを設置した四阿(災害時の携帯充電用バッテリー内蔵)
	・防災倉庫
	・お祭りの時に広場として使いたい
	・広場はなるべく広くする
防犯	・道路側の入口は広くする
	・ポッチャができる平らな広場
その他施設	・照明灯(防犯、ソーラー式)
	・防犯カメラ
	・蓄電施設
	・トイレ
	・時計
	・水飲み
要望	・ゴミ箱
	・リサイクル回収コンテナ置場
	・自転車置き場

＜2班共通の意見＞

- 外周を植栽で囲み、入口は広くして中央に広場を確保したい。
- 防災のための施設を導入し、防犯についても配慮したい。
- 普段の休息利用のほか、災害時やイベントの時には使いやすくしたい。

第1回ワークショップの配布資料は北区ホームページでご覧いただけます。 [こちらより](#)⇒

